

経済産業省製造産業局化学課機能性化学品室長井上悟志様の挨拶

平成28年1月19日 於；東京ガーデンパレス

皆様明けましておめでとうございます。私は経済産業省で機能性化学品室長を務めております井上と申します。本日は全国複合肥料工業会、一般社団法人 全国肥料商連合会の合同賀詞交歓会にお招き頂きまして有難うございます。新年を迎えるにあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。まず日本経済につきましては、昨年度 27 年度の経済成長率は実質 GDP 年で 1.2%を見込んでおります。また来年度平成 28 年度は今年度に引き続きまして雇用それから所得環境が改善する 交易条件も緩やかに改善するといった状況のなかで堅調な民需に支えられた景気回復が続くであろうということで経済成長 1.7%を見込んでおるところでございます。このようななかで来年度の経済成長を確かなものにするためには産業界の皆様の人材それから設備さらに技術に対する投資をお願いしてございます。皆様が取り組んでいただけることが重要かと思っております。また広く色々な産業界において、このような場をお願いしているわけでございますが、賃上げ或いは適切な価格の転化こういったことも重要であろうかと考えております。是非皆様におかれましてご理解を賜ればと考えております。また肥料、国内の肥料事業について見てみますと先ほどからお話にありますように人口の減少、農業人口の減少それから耕地の減少こういったものが要因となりまして肥料の需要についても減少傾向にあるとうかがっております。そのような中で、肥料産業に携わる皆様方に多少なりとも元気に取り組んでいただけるようにと経済産業省も取組みを進めているところでございます。国会でご審議頂いております今年度の補正予算では、省エネ設備の導入の支援ということで省エネ補助金の拡充を盛り込んでいるところでございます。また中小企業の方が新しい機械を導入された場合には 3 年間にわたって固定資産税を 1/2 に減税する提案もいたしているところでございます。更にそのほかに施肥の為の土壌分析事業これが計量法の対象になるとの見解が示されて以降、例えば環境計量士を配するための人件費ですとか或いは最適な施肥が行われないことによる追加的な肥料費の増とかのことでお困りであるとかお悩みの声があるということも認識してございます。こういった点に付きまして私たちは問題の解決のために取組んで参る所存でございます。最後になりましたが、本日お集まりの皆様方の今年益々のご健勝ご発展をお祈り申し上げさせていただきます私の挨拶とさせていただきます。